

9月定例会

- 平成30年度決算認定…………… 2
- 決算特別委員会(総括質疑)…… 4
- 分科会委員長報告…………… 6
- 追跡レポート…………… 7
- 一般質問…………… 8
- 特集・こども議会…………… 18
- 私のひとこと…………… 20



特集 **こども議会**

市政へ鋭く質問

議長の進行のもと 11議員 熱弁ふるう

表彰

議員勤続20年特別表彰

前議長 須貝 孝氏

今年の6月11日に東京都で行われた全市議会議長会定期総会で、議員勤続20年特別表彰の受賞が決定。須貝氏が9月9日の市議会で大類議長より表彰伝達を受けられました。

ぼうちょう
議会を傍聴
しませんか？

◇12月の定例会は
12月5日~13日
の予定です。



9月の定例会本会議の傍聴者数は48人でした。

モニター募集します!

議会だより・読者モニター(若干名)

議会だより編集委員会では、より読みやすく親しんでいた
だけの広報誌づくりを目指しています。
年4回発行される議会だよりを読んで、ご意見やご感想を
寄せていただく読者モニターを募集しております。

発行/山形県尾花沢市議会 編集/市議会だより編集委員会

- 発行責任者
- 議長 大類 好彦
 - 市議会だより編集委員
 - 委員長 鈴木 清
 - 副委員長 和田 哲
 - 委員 塩原未知子
 - 委員 伊藤 浩
 - 委員 菅野 喜昭
 - 委員 安井 一義
 - 委員 鈴木由美子

私のひとこと



誓いの言葉

成人代表 今野 隆晴
菅野 華

本日は、成人を迎えた私たちの門出のために、このような盛大な式典を開催していただき、誠にありがとうございます。また、尾花沢市長をはじめ御来賓の皆様や多くの方々に、私たちの成人を祝福していただき、厚く御礼申し上げます。

今日、新成人として皆様と共にこの場に立てたことを大変うれしく思います。これまで多くの教育を通して心身ともに成長し社会に出て成人となりました。

私達をいつも支えてくれた家族や、ご指導いただいた先生方、見守っていただいた地域の皆様のおかげで、このように成人式を迎えられることができました。

これからも私たちは、皆様への感謝の気持ちを忘れず、成人としての自覚、尾花沢で生まれ育ったことを誇りに持ち、社会へ貢献し、輝かしい未来への担い手になっていくことをお約束し、誓いの言葉とさせていただきます。

あとがき

ラグビーW杯で日本代表が大活躍。胸が熱くなり勇気づけられました。私たち議会だより編集委員会は今号より新体制になりました。アナログな私が編集長を拝命しました。先輩方が築き上げてきた紙面の改革と何より市民の皆様から手に取って読んでいただけるよう更に努力してまいります。ご愛読よろしくお願ひします。(鈴木 清)

子育て
日本一への
挑戦

平成30年度決算 認定

一般会計歳出 130億1,009万円
特別会計歳出 49億6,304万円

総額 179億7,313万円

9月
定例会
2019

令和元年度一般会計補正予算より

私立保育園・幼稚園副食費助成事業補助金
278万1,000円

さらに一歩前進！

副食費を市独自で全額助成

(月4,500円/人)

※国の副食費免除対象者を除く。

国の制度により、10月からの保育・幼児教育の無償化(3~5歳児)にともない、保育料に含まれていた給食のおかずやおやつ代にあたる副食費(国基準月額4,500円/人)が、実費徴収になります。しかし、尾花沢市は子育て世帯の経済的負担の軽減を目的として、全額市で負担することを提案し(議第53号)、可決しました。

	保育園・幼稚園・認定こども園		
	保育料	給食の主食費	給食の副食費
 3~5歳児	国の制度により 10月から 無料	ごはん持参など 保護者負担	市の独自軽減で 市で全額負担 (4,500円×12ヶ月= 年54,000円)
 0~2歳児	これまでどおり 有料 (ミルク・離乳食・ごはん・おかず等は保育料に含まれています) ※ただし、住民税非課税の低所得世帯は保育料が無料です。		



住民と現地調査

請願
請願第2号は賛成少数のため不採択となりました。
◎市道Ⅲ-44号線の縁石撤去に関する請願
請願者 尾花沢市上町四丁目8番7号 上町第3区長 間宮良一
市道Ⅲ-44号線(東根・尾花沢線から国道13号線尾花沢バイパスを結ぶ路線)の縁石撤去を求める請願

○：賛成 ×：反対 /：議長 欠：欠席

9月定例会賛否状況

(賛否の分かれた議案のみ掲載 他は全会一致)

受理番号	採決の結果	菅野修一	星川薫	菅野喜昭	安井一義	大類好彦	奥山格	青野隆一	鈴木由美子	和田哲	小関英子	塩原未知子	伊藤浩	鈴木裕雅	鈴木清
請願第2号	不採択	○	○	○	○	/	×	×	×	×	×	×	×	○	欠

特別会計決算

国民健康保険特別会計事業勘定	20億6,629万円
中央診療所施設勘定	3億5,093万円
簡易水道特別会計	2億6,039万円
国営村山北部土地改良事業	235万円
農業集落排水事業特別会計	6,903万円
介護保険特別会計	20億1,383万円
後期高齢者医療保険特別会計	2億22万円

主なもの



語学指導事業 1,576万円
(ALT・イングリッシュキャンプ)



新庁舎建設事業 14億7,410万円
(総額26億5,000万円のうち)



路線バス運行事業 5,593万円
(市バス9路線・银山線)



徳良湖周辺施設整備・修繕事業 6,047万円



ポンプ自動車購入事業 7,984万円



尾花沢中学校環境整備事業 2,789万円

9月定例会は9月9日から27日までの19日間の会期で開催された。令和元年度補正予算4件と、平成30年度会計決算認定7件を認定した。ほか学校設置条例の一部修正など14議案を慎重に審査し、原案のとおり可決。また、任期満了にともなう人事案件4件を同意し閉会した。

定例会のあらまし

11人の議員が入念にチェック!!

防災行政無線の有効活用

Q 防災行政無線の運用として、災害の周知の他に市の大きなイベントへの参加呼びかけなど、幅広い活用をしてはどうか。他の自治体では新生児が誕生した時にお祝いの広報を行っているところもある。(伊藤 浩)

A 市の運用規定の中で、災害広報の他にも市長が認めた内容も可となっている。大きなイベントの広報など、幅広い分野で有効活用を検討していきたい。

花笠高原施設管理事業

Q 夏休み期間を除いてログハウスの稼働率がかなり低い。冬はスキー場と徳良湖のスキーランドを結んで、銀山温泉で宿泊できない

交流人口の受け皿や、高原の良さを引き出し満天の星空の下でチェロの演奏などの企画などもっと工夫すべきでは。(塩原未知子)

A 花笠高原エリア全体の活性化と、え、合宿や簡易な宿泊所として新たな誘客への取り組みで、銀山温泉のを含む花笠高原エリア全体の活性化と利用拡大に努める。



花笠高原荘設備

Q 花笠高原荘ログハウスに自動火災報知設備を設置工事していたが、利用時の安全性が向上した。今回、新たに付けられた理由と設置台数はどうか。(和田 哲)

A 平成24年5月に起きた、福山市ホテル火災で死者が多数発生したことを教訓とし、就寝を伴うすべての旅館などに対して、自動火災報知設備の設置義務の消防法令の改正により工事を行った。設置台数は、6棟に各親機1・子機2を設置した。



生活保護事業

Q 小中学校には就学支援事業があるが、生活保護事業には「保育扶助」がない。子ども子育て支援新制度により「実費徴収に係る補給付事業」があるもので活用してはどうか。(鈴木 清)

A 県内では、鶴岡市・米沢市・天童市で活用している様なので、検討したい。

緊急通報システム運用事業

Q 新加入件数と休止中の数の推移はどうか。また、利用された方からの要望はあったか。(小関英子)

A 31年度は28世帯の利用があり過去10年度は250〜270で推移している。30年度新規19件・廃止31件・休止180件。



利用に対する要望はない。固定電話のない携帯世帯へもしっかり対応できるようにしたい。

放課後児童クラブ

Q 放課後児童クラブ支援事業実施状況はどうか。また、収容人数が元々足りていないのではないか。(鈴木裕雅)

A 前年度は53名の未入所児童があった。本年度は48名となっている。収容人数に限りがあるので、出来るだけ低学年を優先に対応している。

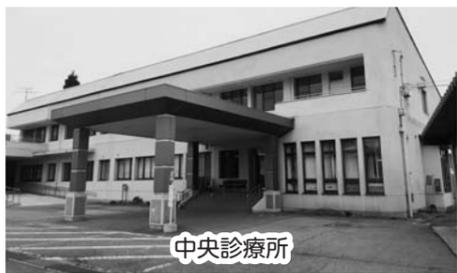
ストレスチェック業務委託料

Q 受検対象は臨時職員の方々を含め全員がチェック結果の傾向はどうか。(鈴木由美子)

A 正職、臨時職、専門職全員が対象であり健康診断と一緒に受けている。健康リスクの比較として、全国平均を100とした場合、尾花沢は正職員96ポイント、臨時職員86ポイントとなりストレスは低い。メンタルヘルスの不調を防ぐために産業医との面談も呼びかけている。

中央診療所運営

Q 中央診療所への持ち出しが年々増加し、1億3千万円を超えている。今後どのような運営を考えているのか。(青野隆一)



A 今後とも市民の診療所として継続していくためには、常勤医師の増員が必要であり、空きベッドの有効活用や在宅医療のあり方についてもどうするのかを検討していきたい。

ふるさと応援寄付金

Q 平成28年度から「企業版ふるさと納税」制度もできたが、企業からの寄付はあるか。また、平成27年度から税金の控除を受けられる寄付額の上限が2倍

地籍調査

Q 現在、尾花沢市の地籍調査進捗率は44.5%であるが、調査を休止している理由は何か。急がないと、山間



A 企業版はない。ただし会社でも個人のものもある。寄付額が増え、大きく影響があった。

除排雪事業

Q 72件の生活道路除雪補助事業の内容は。(安井一義)

A 生活道路除雪事業

部の境界の分かる人がいなくなるのでは。(星川 蕙)

A 認証登記待ちが10工区分あり、県より登記を進めてからと指導を受けている。早期の調査再開に向けて努力する。



交付金要綱に規定している補助対象路線については、市で除雪路線としていないところに住居があり、3級以下の路線で1mあたり1千円以下の助成を行うものである。

議長 大類好彦
決算特別委員長 菅野修一
2名は役職の立場上質疑はできません。
欠席 菅野喜昭

広報費

市報について、公共施設だけでなく、駅や市内の開業医、さらにはスーパーマーケットにも設置をお願いするなど、市内外の多くの方に見ていただけるよう要望した。

地域開発費

徳良湖築堤100周年に向け、徳良湖周辺の環境整備に努めるよう要望した。



徳良湖

元気な地域づくり交付金事業

地域おこしの取組みに手を上げられないでいる集落もあることから、実施団体の事例を広く紹介するとともに、交付金事業について更なる周知を図るよう要望した。

小学校学校管理費

近年の出生数の減少および尾花沢小学校の校舎老朽化を踏まえて、子どもたちの教育環境の充実を図るため、学校教育検討委員会における議論を加速するよう要望した。

尾花沢市ふれあい推進事業費

イベント内容について、女性が参加しやすくなるような企画や、若い人たちが自ら企画し、自然な形で出会えるような事業を検討するよう要望した。

非常備消防費

各地区における消防団員数は、年齢制限が廃止されてもなお年々減少している現状にある。地域における消防力の確保という課題解決にむけ、消防本部に啓蒙活動を強化するよう要望した。

芭蕉・清風歴史資料館費

資料館で所有する未整理の資料を整理できる専門知識を有した学芸員や専門職の配置を検討するよう要望した。

地域産業振興費

第6次産業化総合支援事業で、すいかの加工品が開発されてきたが、今後の商品開発については、研究機関と連携し、支援体制を強化する事を要望した。

老人福祉費

高齢者世帯除雪サービス事業は登録者事業者の他に、地域の中で支援する方もいるので、更なる内容の充実を検討するよう要望。また、敬老会について、参加できない方が不公平感を感じる事の無いよう配慮する事を要望した。

子育て支援対策費

放課後児童クラブの運営は、子供達が充実した時間を過ごせるよう、施設の有効活用も含めた運用内容の検討を行うよう要望した。

予防衛生費

定期予防接種の市内医療機関での接種率向上に向けて、小児科医師の確保を図るなど市内医療機関の充実に努めるよう要望した。

農業振興費

人・農地プランについては、毎年地域毎に見直しを行っているが、地域農業の未来に関わる内容であるので多くの農業者が参加できるような運用を要望した。

林業総務費

急増している鳥獣被害を予防するためにも、新規狩猟者確保対策事業について更に周知し、狩猟者の確保を図る事を要望した。

観光費

県立自然公園船形連峰御所山の、山頂社殿や道標が破損している

道路新設改良費

冬期間の流雪満利用での不具合など、市民生活に不便が生じないよう、重兵衛堰や新堰などをはじめとする水利権取得を要望した。

住宅管理費

荒楯地区住宅分譲地で未契約の6区画について、より一層のPRを行うなど、販売促進に努めるよう要望した。

一般介護予防事業

「はつらつ元気塾」や「足腰らくらく運動クラブ」などの介護予防事業が好評であることから、事業の充実と継続を要望した。

追跡レポート 若者チャレンジ応援事業

3年間 上限150万円

概ね40歳以下の市民が構成する団体が、自然や文化などの地域資源を活用し、遊び感覚を盛り込みながら地域おこしを推進する事業。

事業名 ドツキ市



地域おこし協力隊と地元に住む若い世代が中心となって企画したドツキ市がスタート。ふた月(ツキ)に一度、土(ド)曜日に市(イチ)を立て、改めて徳良湖の魅力を発信し、生産者が直接販売をして来場者とやり取りすることで出会いが生み出される。

冬期間はクリスマスや雪まつり、野菜の採れる時期(6月~11月)は地元の農家や家庭菜園で野菜作りをしている方との取り組みも検討しており、「地域・世代をこえた交流の場づくり」が創出される。ぜひドツキ市に足を運んでみてはいかがでしょうか!!



実行委員長のひとこと

秋雨にもかかわらず多数の方々にご参加いただき心より感謝いたします。これからも老若男女問わず徳良湖を中心に尾花沢が元気になるようドツキ市を続けてまいります。

横澤 孝博



次回は 12月14日(土) in徳良湖

事業名 尾花沢市の未来を語る地域づくり

成人式を迎えてから10年。当時の、はたちのつどい実行委員会が中心となり企画・運営を行った新しい取り組みには、県内外から57名の対象となる若者が集いました。「地域発展への貢献」を目的に参加者全員で行われたワークショップのテーマは、「商店街・働く場・支え合い・福祉・コミュニティ・雪・祭り・子育て」の8テーマ。おのおのが思いを書き出し、久々の再会の喜びに、尽きることない話に花が咲いた。

実行委員長のひとこと

同じ世代でふるさとの今後を話し合う機会が普段は無い。出てきた意見が未来のプラスになってほしい。

伊藤 翔太



三十路ふえすていばる

8月15日：サルナート



鈴木由美子 議員

豊かな人材育成のために、近隣諸国との交流を！

市長…どのような取り組みが可能か調査していく

交流人口拡大

問 東京オリンピック・パラリンピックにおける県内のホストタウン登録は14市町村と、東北でも多い数である。市としての登録が無いのは本市のみだが、オリンピックとパラリンピックにどのような関わりが持てるのか。

答 聖火リレーが本市を通過する。昭和39年開催の東京オリンピックのように、市民一丸となり楽しみ、盛り上がる内容となるよう検討していく。また、パラスポーツへの理解や関心を持ってもらえるような取り組みを行う。

問 尾花沢小学校及び尾花沢中学校のスクールバス対応地区の再編と降

バス対応地区の再編と降

問 日本全体としても人口減少が課題の中、インバウンドによる経済効果が期待される。本市全体の国際交流で、地域活性化や国際感覚豊かな人材育成をしていくべきと考えるが、本市の将来展望はいかがか。

答 インバウンドによる観光消費は本市の経済効果に大きく寄与しているが、海外との相互交流には多額の公費がかかるため、本市にもたらす効果、相手側のニーズなどどのような取り組みが可能か調査していく。

問 市民英語講座や大人向けイングリッシュキャンプ、中国語、台湾語講座など開催してはどうか。

答 地域人材の確保、指導者への支援体制、市民ニーズも含め生涯学習の推進に取り組む。

問 尾花沢小学校及び尾花沢中学校のスクールバス対応地区の再編と降

バス対応地区の再編と降

問 車道を学校前に統一して、安全と平等なサービスを提供してはどうか。

答 路線バスの時刻やルート変更も伴うことから学校並びに運行事業者、関係部署による協議を進めていく。



女性パワーの発掘

問 女性農業者の育成や支援、人材活用についての市の考えはどうか。

答 関係機関の協力を得ながら検討し、女性も元気に楽しく取り組める施策を研究しながら農業そのもののイメージアップに取り組む。

さまざまな文化交流から新しいものが生まれる♪



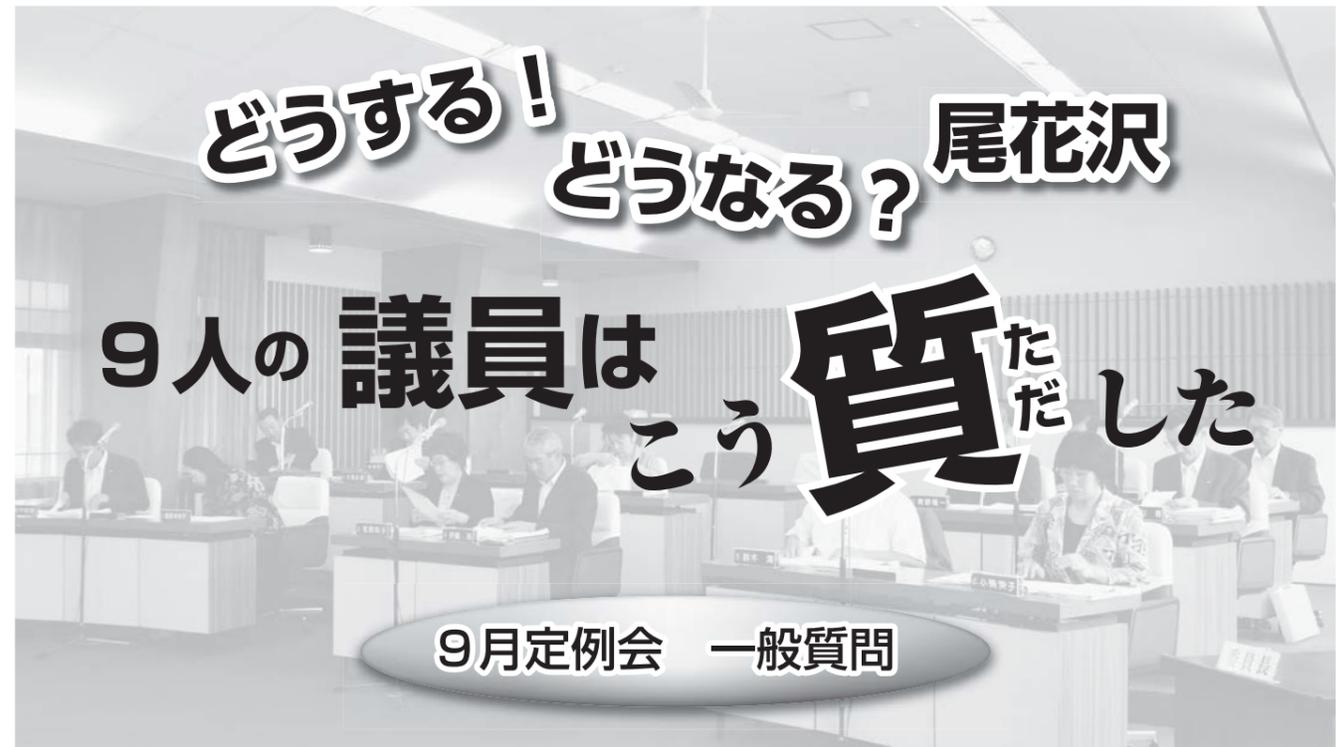
つばき...



問 「意見箱」を復活させ、メールでの意見も含め公開許可のあるものについては、いただいた意見と市からの返答を公開することにより、市民との距離も縮むと思われませんかか。

答 パソコンに不慣れな方のご意見もいただけるよう、「意見箱」の設置も考える。また内容公開の基準については調査研究する。

市民の声



○囲み数字が掲載

鈴木由美子	<ul style="list-style-type: none"> ① 尾花沢小学校及び尾花沢中学校スクールバス対応地区の再編と降車地の統一 ② 東京2020オリンピック・パラリンピック ③ 市民外国語講座開設 ④ やまがた農業女子ネットワーク ⑤ ご意見箱の設置 	安井一義	<ul style="list-style-type: none"> ① 農業政策 ② 道路の維持管理 ③ 地域コミュニケーション
青野隆一	<ul style="list-style-type: none"> 1 議会からの政策提言 ② 健康おばね21 中間報告書 ③ 鳥獣被害対策 ④ 日本一のスイカグッズを活用したまちづくり ⑤ 暮らし続けたいまちづくりのために 	塩原未知子	<ul style="list-style-type: none"> ① 若者がよるこんで参加したくなる「尾花沢四大まつり」の再構築を ② 歴史と文化の継承を本町まちづくりビジョンに ③ 「食と農」を要にした令和の新観光ビジョン ④ これからの山の保全と地域の仕事起こし ⑤ 尾花沢の豊かな水資源の利活用
和田哲	<ul style="list-style-type: none"> ① 旧市民会館の解体計画 ② 大会出場激励金の充実 3 徳良湖及び花笠高原荘周辺地域の総合整備 4 若者の力をまちづくりに活かすには 	菅野修一	<ul style="list-style-type: none"> ① 「日本一の夏すいか作り」で新規就農者を呼び込もう ② 準用河川の管理改修等 ③ 御所山登山道 4 徳良湖周辺施設テニスコートのリニューアル
星川薫	<ul style="list-style-type: none"> ① 防災対策 ② 尾花沢市のホームページ ③ 空き家対策 	奥山格	<ul style="list-style-type: none"> ① 消滅可能性都市のレポートから ② 芭蕉清風資料館 3 農産加工センター ④ 有害鳥獣対策 5 花笠踊りフォトコンテスト
小関英子	<ul style="list-style-type: none"> ① 高齢者の買い物支援 ② 冬季間の安全運行の確保 ③ 防災対策の拡充 4 だれもが住みやすい街づくり 5 SDGsへの取り組みを推進 	<p>尾花沢市議会 インターネット中継 録画も</p> <p>市のホームページからアクセスできます</p> <p>www.city.obanazawa.yamagata.jp</p>	



星川 薫 議員

市民の人命・安全確保を第一に

市長…早期避難を呼びかける

防災対策

問 防災情報ガイドを7月中旬に市内全世帯に及び関係機関に配布したが、「指定緊急避難所の指定に関する手引き」平成29年3月内閣府に則っていないのはなぜか。

答 有識者などの助言や指導などは受けておらず、自主防災会との話し合いで決定したが、手引きに基づき見直しを行う必要があると認識している。

問 昨年9月定例会で避難所へのエアコン設置の必要性を訴えたが、現状はどうなっているか。

答 旧庁舎から使用可能な比較的新しいエアコンを、9施設に壁掛け型10台、床置き型5台、合計15台を指定避難所に移設した。

市のホームページ

問 尾花沢市の顔であるホームページは最新情報とアピール事業が明確でなければいけないと感じているが、出来ていない状況にある。最新版にしておくためのマニュアル作成が必要ではないか。

答 尾花沢市ホームページ管理規定を見直すとともに、各課でホームページ担当を決め、システムの活用方法と掲載内容を



市のホームページ

定期的に見直す仕組みを再構築する。

空き家対策

問 空き家に対する制度への市民の認識不足を感じている。空き家支援をまとめたパンフレットを作成し周知を図ってはどうか。

答 「空き家支援をまとめたパンフレット」については、関係課と連携し、これまでのチラシに税情報や新規補助制度など、必要な情報を取り入れて、さらに見やすく空き家の活用に関する情報発信に努める。

分かりやすい情報が大切なんだが



つぶやき…

問 一般財団法人移住・住みかえ支援機構が実施している「マイホーム借上げ制度」がある。借り手のいない空室時も賃料収入を見込めるメリットがあることから推奨すべきと考えるがどうか。

答 住みかえを希望している方や空き家所有者の方には、有効な選択肢の一つとして考えられるので制度の周知を図っていく。

高齢者の買い物支援 どう行うか

市長…課題やニーズを把握していく

冬期間の安全確保

問 問口除雪の、課題と解決策は何か。

問 高齢者が自分で歩いて自分の目で見ている品物支援バスや移動販売車の導入など、買い物支援をどう行うか。

答 尾花沢市商店街協同組合の事務所で、電話注文を受けて保冷車で市内全域に無料で配達を行っている。



移動配送サービス

答 受託業者5社の代表者などからおおむね当初方針通りの問口除雪が実施されたと確認した。今後、充実を図るため除雪オペレーターの技術向上、雪押場の確保、問口除雪に適した機械の導入などの必要がある。



問口除雪

防災対策の充実

問 全戸配布された尾花沢市防災情報ガイドはどの活用するか。

答 自主防災会単位でガイドを活用した講習会、訓練に、職員の派遣など人的支援も考えている。

問 夜間・休日の避難所開設時、鍵の所在や資機材、通信機器、備蓄品など周知はしているか。

答 問口除雪に関する具体的な実施方法のチラシを配布し、理解と協力を得たい。

問 指定避難所のトイレ対策はどうか。

答 指定避難所に簡易式トイレの配備はなく、断水や下水道被災時の課題である。発災後は物資供給まで日数がかかることも想定されるので、簡易トイレの備蓄も含め対策を考えている。

ともに支え合う尾花沢



つぶやき…



小関 英子 議員



安井 一義 議員

小規模農家へ 強力な支援を!!

市長…「元気な農業支援事業」で 進めたい

農業政策

問 小規模経営農家への支援状況はどうなっているか。

答 市単独の「元気な農業支援事業」にて支援している。また中心的経営体や45歳未満の青年農業者などを対象に助成がある。

問 薬剤散布は可能な限り共同で実施することが望ましいと考え、共同防除を推進すべきと考えられているか。

答 農薬の予期せぬ周辺へ飛散などへの配慮とともに、信頼性確保も必要である。食の安全・安心を含め関係団体の意見を聞

きながら研究していきたい。
問 新たに導入する作物の栽培技術を教え合うネットワーク作りと農業技術の伝承のために、現在実施している方法はどんなものがあるか。また今後、市としてこの課題への対策をどう考えているか。

答 尾花沢市営農指導連絡調整会議を月1回開催し、情報共有と情報発信を行っている。

市道改修

問 市道などのパトロールにより発見したものを修繕していると思うが、市民からの修繕要望を待たずに、可能な限り詳細なパトロールにより修繕すべきではないか。

答 市道のパトロールについては現場班3名体制で実施しており市道延長50kmに及び草刈り、穴埋め、他緊急を要する維持補修が優先され、合間にパトロールを行っているため十分に行き届かないところが

地域の良さと伝統を 次の世代に

問 各地区市民一丸となって祭りに関われるよう毎年テーマを決め、銀山温泉と四大まつりを結び付ける周遊コースなどをつくり、企画の段階から若者（小中高生、大学生）が参加しやすく改善すべきではないか。

答 今後各団体から実働できる人を集め実行委員会の体制を強化していきたい。冬の雪まつりは若手と企画。銀山温泉、スキー場、徳良湖の雪まつりやスノーランドを周遊するコースなどを考えたい。

歴史と文化を保存する まちづくり

問 本町まちづくりのビジョンは「おぼなざわ花笠まつり」と「芭蕉10泊のまち」を際立たせてはどうか。

答 都市計画マスタープランには歴史的な街並みの形成と、自動車の速度抑制、歩行者にとって安全な歩車と歩くまちなみを考え、都市計画道路新町線は「芭蕉清風歴史資料館」などの施設を活かし、奥の細道を演出することなどを盛り込んでいく。中央通り線の改良や電線地中化を県や国に要望していく。

食と農でプチ定住

問 訪れてよし、住んでよしの関係人口促進を兼ね農作業体験のプチ定住を呼びかけ、農繁期の人手不足解消と新規就農者促進を展開してはどうか。

ある。限られた人数の中でどのようなパトロール体制が望ましいか検討したい。

防犯対策

問 地域内での住民間の交流が薄れて来ていることや、防犯灯・街路灯はまだまだ必要とするとあるが、また今後は防犯カメラの設置が必要ではないか。

答 老人クラブや交通安全全母の会などへは運営面で支援を行っている。また各地区の地域づくり振興会へも支援している。本町地区で公民館を所有して



フタのない側溝

田畑作りに誇りを
持てる農業の実現へ



つぶやき…

徳良湖ため池等整備 事業推進計画

問 築堤100周年も間近、進捗状況と今後の展望はどうか。

答 農村地域防災減災事業（ため池等整備事業）を活用し現在、事業採択に向けた基本設計や事業計画の策定を進めており、事業が採択された場合には令和3年度から測量設計、工事を進めたい。



徳良湖

色々な歴史遺産の中で暮らす尾花沢なんだにゃ～



つぶやき…

若者が企画から参加する 「四大まつり」に！

市長…各実行委員会をしっかりと 組織にしていく



塩原未知子 議員



菅野 修一 議員

「日本一の夏スイカ作り」で若者を呼び込め

市長…スイカ作り体験を実施している

問 農業次世代投資事業では、令和元年までの七年間で19名の若い皆さんが農業修得や経営着手に取り組まれており、うち15名がスイカ生産を経営作物としている。そして3名の方がJAのスイカ生産部会に入会された。

答 この事業は新規就農に繋がる有効な政策と考える。市としてどう評価しているか。

答 研修期間の2年間は、市単独の元気な農業支援事業、その後5年間は国の経営開始型を活用して最長7年間の支援がある。新規就農者は、衣食住に対する不安なく、栽培技術習



得に専念できるように支援している。農業の担い手確保の観点からも大変重要な施策と評価し、定住対策としても積極的に推進を図っていききたい。

問 「あなたも君も、日本一の夏スイカ作りにチャレンジ」のような本市ならではのキャッチフレーズで全国へ事業周知のPRを図ってはどうか。

答 本市では新規就農を目指す方にスイカ作り体験を実施しており、その中から就農に至った方やまた移住された青年もいる。

現在新規就農者獲得の自治体間競争が激しく、今後は対面式の情報提供を大事にして、新規就農でスイカ生産に取り組んでいる活動状況もホームページに掲載しながら各種情報の提供を図っていききたい。

要望 現在、農業次世代人材投資事業担当職員は他担当と兼務であり、慎重なる対面や電話相談など本市にやる気ある若者を呼び込む重要な仕事。是非専門職あるいは担当職員を増員して充実を図られたい。

準用河川の管理改修

問 六沢大門橋上流綱木川の改良を望む地区民の声が大きいが、今後の改良見込みはどうか。

答 現在のところ具体的な改修計画はないが、地元の合意で圃場整備事業と併せて実施するとすれば、関係機関に働きかけるなど協力させて頂く。

御所山登山道整備

問 8月に御所山層雲峡コースで遭難事故があった。次の日に救助されたが、夏山登山シーズン前に各登山コースの点検を実施し、安全対策をとるべきではないか。

答 災害リスクを減らす安全対策に今後とも力を入れていきたい。例年5月に点検登山を実施しているが、夏山シーズン前に実施する方向で検討していきたい。また、豪雨などにより登山道が一変する事もあり、登山者からの情報も含めて対応したい。今回の事故を受け、直ちに現地案内看板に通行止めを表示し、近隣市町にも通達を行った。

雇用の場の支援

問 本市に働く場所がなければ人は定着しない。これ以上の人口流出を防ぐには、今ある雇用の場を守っていく必要がある。市の診療所、特別養護老人ホーム、農産加工施設、花笠の湯などの観光施設のほか、民間企業の雇用の現状と、今後の雇用に対する支援の考え方はどうか。

答 公的施設や福祉施設、および第3セクター施設も、社会情勢や住民ニーズを踏まえながら、持続可能な経営に努めてもらっており、働く場の受け皿として大きな役割を担っている

人口減少の進行にもっと危機感を持つべきでは？

市長…「雇用の質」の向上に取り組みたい

ると考える。若い世代の方々に定着してもらうためには、地方においても、賃金や安定性、仕事に対するやりがいなど「雇用の質」の向上に取り組む必要がある。また市内には、優良企業が多数存在するので、企業ガイドブックを作成・配布することで、市内企業と就職希望者の橋渡しを行っていききたい。また商工観光課内に職業紹介所を独自に設けているので、情報提供を行い、市内の求人と求職者のマッチングを支援していききたい。他にも本市特有の支援策として、豪雪時の除雪経費の助成などの支援をしていきたい。

鳥獣対策

問 有害鳥獣の出没工事が拡大している。先日は、市街地に近いところで熊が出た。また民家の小屋に続けて進入しており、人的被害の発生が懸念される。生態調査をしっかりと進めるべきでないか。

答 有害鳥獣の生態調査は、山形県が中心となり実施しており、地元の猟友会が協力している。県の調査結果に併せて猟友会と連携しながら対策マニュアルに基づき、被害防止に努める。



奥山 格 議員

芭蕉・清風歴史資料館

問 資料館をさらに魅力あるものに発展させていくためには、おくの細道に関する研究を進展させる必要がある。しかし資料館にはまだ整理されていない資料がたくさんあり、これらの解説や整理には、専



芭蕉・清風歴史資料館

「日本一の夏スイカ」作りに挑む若者は全国にたくさんいるはず



つぶやき…

良い仕事が多いと若い人は残るのではないかな？



つぶやき…

特集

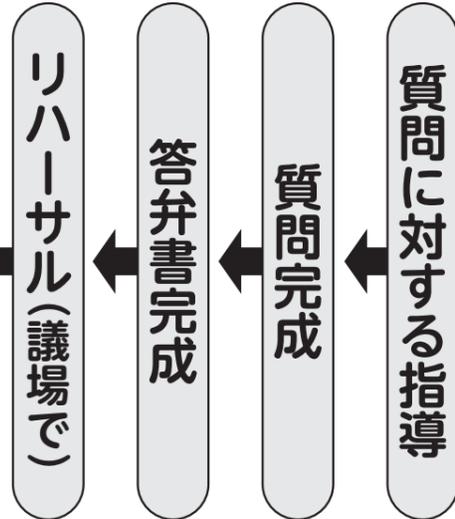
尾花沢の未来の主役たち

さわやかな論戦

こども議会(一般質問)



いよいよ本番!



訪問授業



「自分の言葉」で市政に提言!! こども議会のあらまし

市内の小・中学生が市議会議員に！
市制施行60周年記念事業として、10月17日市議会本会議場で「こども議会」が開かれました。小学生7名・中学生5名が議長と議員となり、市当局に本会議と同じ設定で一般質問を行いました。(インターネットで録画映像がご覧いただけます。)

私たち市議会は、「こども議会」がこども達のふるさと愛を育み、主権者意識を醸成し、まちづくりの参考意見として重要な機会であるところを、学校への訪問授業と指導を通して本会議を迎えました。こども達のまっすぐな質問に市当局もていねいに答弁し、さわやかな論戦となりました。

12	11	10	9	8	7	6	5
議長	② スポーツに関するイベントについて ① 尾花沢市に住むメリットについて	② 朝の通学に関わるバスの増便について ① 市内の学校を、小・中それぞれ1つにしてはどうか	② 尾花沢市内の施設について ① 尾花沢市内ぐるみでの交流活動	① 人口減少の歯止め、定住への取り組みについて	② 子育て支援について(高校まで医療費無料化) ① 自然・生き物について(雪の利活用)	② 観光客が来る有名な鶴子に ① サルと人間が仲良く暮らすために	② 空き家の撤去、再活用について ① 银山温泉までの道路、駐車場の拡張
尾花沢中 山本千種	尾花沢中 鈴木凱敏	玉野中 藤井聖大	福原中 小関彩花	尾花沢中 鈴木心	尾花沢小 富樫雄哉	鶴子小 伊藤優誠	玉野小 遠藤真心

4	3	2	1	質問
② バスの時間について ① 学校のトイレ便器の洋式化について	② 市内の交通事故について ① 尾花沢のスイカづくりについて	② 丹生川橋沿いのバスケットゴールの整備 ① 名木沢の体育施設について	② 予算について ① 人口について	
常盤小 五十嵐蓮翔	宮沢小 高橋凧咲	福原小 菊池春翔	尾花沢小 間宮美香	学校・名前